

## トップニュース

## 能登半島地震被災地支援

## ボランティアのための宿泊拠点

## 七尾市テント村プロジェクトにパネ協も協力



2024年1月1日に発生した能登半島地震の災害ボランティアの宿泊拠点となるテント村が、3月24日、被災地である七尾市（石川県）の城山運動公園野球場に開設されました。

このプロジェクトの実施団体は、岡山県総社市（片岡聡一市長）をはじめとする7市と登山家の野口健氏が代表を務める認定NPO法人ピークエイドで、テント村の規模は100張り、最大200名を収容することができます。

パネ協は協力団体としてテントの土台になる12mm合板450枚を寄贈し現地まで運搬の上、北陸営業所職員や造作大工など延べ13名を派遣し土台を施工するなどテント村の設営を支援しました。また、パネ協の要請に応じてデュポン・スタイロ株式会社からも断熱材スタイロフォーム25mmを450枚無償提供いただきました。

これまで、金沢から日帰りで活動するボランティアが多く、活動時間に制約がありましたが、このテント村開設により復興に弾みがつくことが期待されています。

3月24日の開村式には、パネ協からも理事長瀬良智機と北陸営業所長清水信次が出席し、七尾市の茶谷義隆市長をはじめ多くの方からパネ協の協力に対して謝辞をいただきました。

前列左から  
片岡総社市長、野口代表、茶谷七尾市長、  
辻和泉市長、パネ協理事長瀬良

## 富山県・石川県に災害義援金を寄付

弊組合は、能登半島地震で被災された方々を支援するため、富山県庁、石川県庁に対し災害義援金を寄付いたしました。

3月18日、19日に各県庁に目録をお届けするとともに、東日本大震災など過去の災害時におけるパネ協の災害公営住宅についての取組みをご説明いたしました。

## パネ協事務局新体制

## 新事業本部長・新支所長メッセージ

## 事業本部長 仙田 誠

パネ協は内装のプロフェッショナル集団として公共住宅・民間マンション・公的施設等様々な建築物の内装部材・部品の開発・供給・設計・施工を行っております。

2024年4月より働き方改革関連法による時間外労働の上限規制が建設業、物流業にも適用され、厳しい事業環境が予想されますが弊組合の得意とする内装パネル工法による現場の省力化、内装の木質化・ZEH水準の省エネ工事等について組合員（内装部材製作）・資友会（資材供給）・協栄会（施工）と連携を図り積極的に取り組んでまいります。



## 名古屋支所長 藤井 康典

担当地域  
東海4県（愛知 岐阜  
三重 静岡）  
北陸3県（石川 富山  
福井）



## 大阪支所長 木村 隆治

担当地域  
関西2府4県  
（滋賀 大阪  
京都 兵庫  
奈良 和歌山）



名古屋支所は今年1月の能登半島地震による被災地域も担当エリアとなっており、パネ協としても何かお役に立てることはないかと模索しています。一日も早い復旧・復興に向け、支所として組織を挙げて取り組んでいく所存です。

また、変化していく社会経済状況に目を向け、SDGsや建設現場の担い手不足など新たな課題に対応しつつ、お客様のニーズに的確にお応えできるよう努めてまいります。

2024年4月大阪支所長を拝命しました。どうぞよろしくお願いたします。

数年前からのウッドショックを皮切りに資材の価格が高止まりし、施工や物流コストの高騰も継続するなど、事業環境は引き続き厳しい状況です。このような時こそ、お客様、お取引先などからの情報収集とその分析に注力し課題を事業機会に変えていきたいと考えています。



## プロジェクト紹介

## NMウッド すぎ集成材使用 木工事

「NMウッド すぎ集成材」は、確かな品質と安全性を備えた、国土交通省認定の不燃木材です。耐火性能のある建築材料の使用が法令で求められている学校、庁舎等の公共建築物や商業施設等の壁や天井などにも、そのまま使用でき木の良さを活かした演出が可能です。また特許技術により、結露・白華が生じにくいという特徴があります。

金商株式会社 鞍月事務所(金沢市、2023年5月竣工)でパネ協は木工事を担当し、エントランスの軒天井にNMウッド すぎ集成材をご使用いただきました。

また分譲マンション プラウドシティ金沢(金沢市、2024年1月竣工)においては、1階通路の壁ルーバーにご採用いただきました。



名称: 金商株式会社 鞍月事務所  
所在地: 石川県金沢市鞍月  
施工: 真柄建設株式会社

名称: プラウドシティ金沢  
所在地: 石川県金沢市北安江  
施工者: 株式会社熊谷組

## 稲山正弘氏東京大学退職記念講演会

2024年3月11日、東京大学大学院の稲山正弘教授(木質材料学研究室)の退職記念講演会が、同大学弥生講堂・一条ホールにて開催されました。稲山教授は、教鞭をとりながら、木造建築物の構造設計の専門家として多くの業績を残されています。

稲山教授は1986年パネ協が建設省(当時)主催の「新都市型ハウジングシステム」提案競技で奨励賞を受賞した際に提案書作成をご担当いただきました。また、1992年にはパネ協と開発した「引きボルト式木造ラーメン」を採用して、パネ協社員寮「ガーデンハウス」の構造設計を実施、近年では2019年に中央試験場で「桐朋学園宗次ホール」(東京都調布市)や「飯能商工会議所」(埼玉県飯能市、2023年日本建築学会作品選奨受賞)の構造部材の曲げ試験を実施しています。

2022年8月には、パネ協創立60周年記念セミナーで「木造建築の魅力と可能性」と題してご講演をいただきました。

## パネ協 建設技能人材機構JACに加入

パネ協は、2024年4月1日に、一般社団法人建設技能人材機構(JAC)の正会員団体となりました。

建設分野における人材不足が一層深刻化する中で、今後、建設業を営む組合員は、一定の専門性・技能を有する外国人材の就労が可能となる「特定技能外国人制度」を必要に応じて活用することにより、担い手の確保に努めてまいります。

JACのロゴマーク



## 受入企業が作成する受入計画の国土交通大臣認定基準

- ▶ 建設業法第3条許可の取得
- ▶ 建設キャリアアップシステムへの登録
- ▶ JACへの加入及び行動規範の遵守
- ▶ 同等技能・同等報酬、月給制、技能習熟に応じた昇給
- ▶ 重要事項について母国語・書面での事前説明
- ▶ 受入れ後講習を受講させること
- ▶ 巡回指導による確認を受けること 等

## 短信

## モクコレ2024に出展(東京)

2024年1月11、12日の2日間、木材の需要喚起と利用拡大を推進する国産木材の展示商談会「WOODコレクション(モクコレ)2024」が東京ビッグサイトにて開催されました。国産材の製材事業者、建材加工業者、内装・家具関係の事業者など数多くの事業者が幅広い種類の商品を出展し、5293名が来場して大きな賑わいを見せました。



パネ協のブースでは、間仕切パネル、フローリング、アルマジロ(天然木ツキ板を編み込んだ化粧板)、レーザーボード、手摺、カウンター、不燃木材NMウッド(すぎ集成)を使用した腰壁・ルーバー、地場産材を使用した不燃ウォールを展示しました。

## 安全標語 佳作受賞/優秀協力会社賞受賞

●2023年11月3日に行われた「平錦建設安全大会運動会」にて、神戸営業所職員の磯ノ上裕之が安全標語の佳作を受賞いたしました。



●2023年11月21日、パネ協京滋営業所は要建設株式会社様から、安全教育並びに労働災害防止等を積極的に推進すると共に安全活動に貢献した業績が認められ、「優秀協力会社賞」の表彰を受けました。

